

拠出金名: 日・アセアン経済産業協力拠出金

国際機関等名	日・アセアン経済産業協力委員会事務局 (英文名称・略称) AEM-METI Economic and Industrial Cooperation Committee (AMEICC)					
種 別	国連(事務局) 国連(基金・計画) 国連専門機関 <u>その他</u>					
所轄官庁担当局課名	経済産業省通商政策局アジア大洋州課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
	金 額				拠出率(%)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト	(注)	
平成18年度	59,009			} 円建て	(2006年) 100	100
平成17年度	41,526				(2005年) 100	100
平成16年度	41,526				(2004年) 100	100
拠出上位5ヶ国						
	国 名	金額(千円)	率(%)	国際機関等の財政 (2006年度決算)		
1位	日本	59,009	100	当該年度の収入 65,653千円		
2位				当該年度の支出 55,690千円		
3位				次年度への繰越 10,060千円		
4位				会計検査機関名		
5位				横浜みなと会計事務所		
上記の率及び順位は2006年のもの						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
本委員会は日アセアン首脳間の合意に基づき、日アセアン経済大臣会合(AEM-METI)の下に設置されているものであり、プロジェクトの実施等意思決定の過程において、必ず日アセアン双方の合意が必要となる。我が国としてもこの意思決定プロセスに積極的に参画しており、我が国の意見を確実に反映させるよう努めている。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
本委員会における事業の実施及び進捗については、必ず日アセアン経済大臣会合に報告することになっており、各国の経済閣僚が常に事業の進捗状況を確認している。また、2004年度のAMEICCにおいて、アセアン経済統合支援及び東アジア共同体構築支援のために、政策面とマネジメント面で改革を進めることが合意されている。						
邦人職員数 うち幹部以上	2 人 うち 1 人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体に しめる率	4 人 50 %			
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称	職 員 氏 名	備 考				
事務局代表	小林 出	経済産業省より派遣				
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
本委員会は日アセアン首脳間の合意に基づき設置されているものであり、その事業は日アセアン間の経済連携強化のために非常に重要。従って、今後とも職員を派遣していく予定。						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2004年～2006年)。